

■品川弥二郎 志士、政治家。官軍進発の際、「宮さん宮さん」作詞し初の軍歌、長州軍閥形成や選挙干渉でも名を遺す。

しながわやじろう

順天堂始・1843= 萩の郊外松本村川端で、長州藩士品川弥市右衛門の長男(一人息子)に生まれる。

阿部正弘首座1845= 2歳：

万次郎帰国・1852= 9歳：

ペリー来航・1853=10歳：

蕃書調所・1857=14歳：_松下村塾に入り吉田松陰に学ぶ。

_その思想的影響を受けて尊王攘夷運動に参加，

桜田門外変・1860=17歳：

遣欧使節・1861=18歳：

生麦事件・1862=19歳：_長州藩の高杉晋作・久坂玄瑞・志道聞多(井上馨)らと血盟して尊攘の志を誓い合い，イギリス公使館焼討ち事件にも参画。

禁門の変・1864=21歳：

_蛤御門の戦(禁門の変)に従軍，ついで四国連合艦隊との戦いに際しては，和議反対の意見を藩主に上申。この間，桂小五郎(木戸孝允)・山県狂介(有朋)・伊藤俊輔(博文)らとともに，藩地と京都の間を往復して国事に奔走し，倒幕を議し，西郷吉之助(隆盛)・大久保一蔵(利通)・黒田了介(清隆)・村田新八ら薩摩藩の志士たちとも交遊を深める。

明治維新・1868=25歳：

_徳川慶喜追討の新政府軍進発にあたって，日本初の軍歌となる「宮さん宮さん」の唄謡を作詞，作曲は弥二郎はじめ多くの志士が惚れた勤皇芸者中西君尾といわれる。

戊辰戦争終・1869=26歳：

_長州藩整武隊参謀として蝦夷地に向かい，榎本武揚ら旧幕府軍の鎮圧にあたる。

初の日刊新聞1870=27歳：ヨーロッパに留学，

明治6年政変 1873=30歳：

ドイツ駐在日本公使館の書記官，同代理公使を歴任し，

三つの反乱・1876=33歳：

帰国，_内務大丞ついで内務大書記官となり，士族反乱の鎮定に功績をあげる。

琉球処分・1879=36歳：

その後，内務省地理局長・内務少輔・同省勸農局長・農商務少輔などを歴任，

明治14年政変1881=38歳：

新体詩抄・1882=39歳：

_特に農政や山林(植林)事業に力を注ぎ，大日本農会を設立してその幹事長となり，

新体詩抄・1882=39歳：

*大日本山林会創立にあたる。また，郵便汽船三菱会社に対抗して共同運輸会社を作らせ，ついで両社の合併による日本郵船会社の設立を周旋。農商務大輔に就任し殖産興業政策の推進にあたる。

秩父事件・1884=41歳：

内閣発足・1885=42歳：

帝国憲法発布1889=46歳：

国民之友始・1887=44歳：

初の対等条約1888=45歳：

帝国憲法発布1889=46歳：

足尾鉍毒始・1891=48歳：

大本教・・・1892=49歳：

日清戦争始・1894=51歳：

八幡製鉄始・1897=54歳：

Bushidou・1899=56歳：

ピアノ国産化・1900=57歳：

華族令の制定とともに，明治維新以来の国家への勲功が認められ子爵に叙せられた。
ドイツ駐在日本公使となってベルリンに赴任，川島甚兵衛を同行して，欧州織機技術を見聞させ，小農・小商工業者保護の立場から産業組合に強い関心を抱き，
_山県有朋派として長州陸軍閥の確立に貢献，
*大津事件に伴う内閣改造で，第1次松方正義内閣の内務大臣となり，民党に対する強硬姿勢を打ち出して，いわゆる武断派の一員を形成したが，民党への宥和策を唱える陸奥宗光農商務大臣と対立。また，信用組合法案を起草せしめ，第二議院に提出したが，衆議院の解散で流産に終わった。
_第2回総選挙で，民党候補者の再選を防ぐべく，大がかりな選挙干渉を行なって非難を浴び，陸奥とともに辞職。枢密顧問官に転じたが，まもなく辞任し，西郷従道と国民協会を結成，副会頭となって各地を遊説した。第2次伊藤内閣が衆議院の第1党自由党と接近すると，国民協会は国家主義の立場からこれと対抗。
在野時代も産業組合の奨励に努める一方，京都の別邸に尊攘堂を設立し，明治維新の志士の遺墨をはじめ，貴重な関係史料の蒐集に尽力，
_国民協会が改組され，佐々友房らを中心に帝国党が結成されたのを機に，枢密顧問官に返り咲いたが，肺炎のため東京市麹町区富士見町の自宅で_没した。